

2年 12月 15日

出張報告書

津山市議会議員 原 行則 XXXXXXXXXX

| | |
|-----------------------------------|---|
| 出張日 | 令和2年11月28日 |
| 種別 | <input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議 |
| 出張先 | 貞庭市, 旧遷高小学校 |
| 調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名 | 「儲かる林業を実現する会」 和一回岡山懇話会 |
| 応対者/講師名 | 大貫肇, 山田寿夫氏 |
| 目的 | 林業の現状とこれからの展望を聞く |
| 概要 | 日本の林業は、材価の低迷・後継者不足等により、なかなか儲かる林業になっていない。この一方で、北米諸国、北米等では儲かる林業を実現している。これから日本の林業は、どうすべきかを考察していく |
| 得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など | 昨年始まった、国の林森環境税、本市には約3000万円入っている。これを基金に積んでこのお金を使って、林業の活性化には取り組んでゆかねばならない。本市においても儲かる林業を考察し、取り組む事が重要である。 |

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

儲かる林業を実現する会 in Okayama 第一回 講演会

主催：儲かる林業を実現する会 岡山懇話会

共催：真庭市、後援；新庄村、津山市、新見市、鏡野町、美作市、高梁市

日時 令和2年11月28日午後1時30分～4時

場所 旧遷喬小学校 講堂（岡山県真庭市久世 久世エスパセンター内）

会費 お一人千円

講演（下記の中からお二方）

- ・演題－1「儲かる林業の実現に向けて」講師：大貫 肇氏 元林野庁九州森林管理局森林整備部長
現物林株式会社新事業推進部長
- ・演題－2「先進国林業を踏まえた我が国林業の現状と展望」講師：山田壽夫氏
元林野庁九州、北海道森林管理局局長、
現全国木材検査・研究協会理事長、
木構造振興（株）代表取締役

1、定員 60名（ソーシャルディスタンスを考えて人数を制限いたします）

儲かる林業を実現する会 岡山懇話会 設立趣意書

材価の低迷でこれまでのやり方では林業は儲かるどころかマイナスです。このような状態に陥って約半世紀。儲からない山のことは放置するといった状況に陥っています。

そうした状況を脱するために国は森林環境税と森林環境譲与税をセットで制定し、放置された森林を市町村が仲介役となり森林所有者と意欲と能力のある林業経営者をつなぐ権限を与え、放置された森林を救済しようとする森林経営管理法が施行されました。画期的な制度で大きな成果が上ると期待されています。山に関心がなくなり、放置するようになっているのは儲からないからで、儲かるようになれば関心も高まり、山に投資されるようになります。経済原理が働き活性化することがベストです。

海外に目を向ければ、北欧諸国、ニュージーランド、アメリカ合衆国南部では儲かる林業を実現しています。日本でも出来ないことはないと思います、熱意を持たれる皆様と共に採算の取れる林業を考え、儲かる林業を実現したいと思います。

（各県ごとに懇話会を置き、趣旨にもとづいた活動を展開し、会費制の運営を原則とします。）

講演会申込書

講演会参加申込書（希望者は住所、氏名、電話又は携帯をご記入の上 FAX 又は郵送でお願いします）

《締切；会場設営の都合で11月20日（金）まで。 参加費は当日受付で受領いたします。》

氏名 原 行見 個人、所属団体、会社名など 津山市議会議員

住所 津山市中村202-11 (東北森林・林業活性化
促進議員連盟 理事)

電話又は携帯電話

申込先；FAX 0867-42-0705、ところ 岡山県真庭市

世話人 豆原義重

お問い合わせ等：

講演会のご案内



～儲かる林業を実現する会 第一回 岡山懇話会～

世界には、北欧諸国、ニュージーランド、アメリカ合衆国南部など、“儲かる林業”を実現している諸外国がたくさんあります。日本の林業は、材価の低迷等により、なかなか儲かる林業ができないまま約半世紀が経過しようとしています。

しかし、こうした状況から脱却すべく、国が森林経営管理法を施行するなど林業を取り巻く環境が少しずつ変化しています。日本でも採算のとれる林業を考えるべく、私たちは令和2年10月に「儲かる林業を実現する会」を設立しました。

つきましては、下記日程で講演会を開催いたしますので、皆様ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

1.日時

令和2年(2020年)11月28日(土) 13時30分～16時

2.会場

旧遷喬尋常小学校 講堂 (真庭市鍋屋17番地1)

3.内容

講演①(約60分)「儲かる林業実現に向けて」

講師：物林株式会社 新事業推進部長

大貫 肇 様

講演②(約60分)「先進国林業を踏まえた我が国林業の現状と展望」

講師：木構造振興株式会社 代表取締役

一般社団法人全国木材検査・研究協会 理事長

山田 壽夫 様

4.定員

60名

5.参加費

1,000円

6.その他

コロナウイルス感染症対策のため、

ご来場の際はマスクをご着用ください。

大貫 肇(おおぬき はじめ)様

1960年栃木県日光市生まれ
1982年東京農業大学林学科卒業
同年林野庁入庁。その後、九州森林管理局森林整備部長、林野庁国有林野管理室長、東北森林管理局次長、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター所長を歴任し、平成31年3月に林野庁を退職。現在は筑波大学大学院博士課程に入学し、国際地縁技術開発科学を専攻。また、令和元年7月より物林株式会社に入社し、新事業推進部長に就任。

栃木県日光市の国産材100%の製材工場の息子。4代目になる予定が、林野庁に就職。国産材の話には、血が騒ぐ。趣味はスウェーデン発祥の、道具に木材を使うスポーツ「クップ」。平成31年に東京都クップ協会理事に就任。



山田 壽夫(やまだ ひさお)様

1951年熊本県人吉市生まれ
1976年林野庁入庁。1978年には林野庁初の町役場出向者として岩手県住田町へ出向。その後、林野庁木材課長、林野庁計画課長、九州森林管理局長、北海道森林管理局長を歴任し、平成21年3月に林野庁を退職。その後、平成28年より木構造振興株式会社代表取締役に就任。また平成30年より一般社団法人全国木材検査・研究協会理事長に就任。令和元年からは公益社団法人大日本山林会監事にも就任している。

実家が山林を所有し、スギ・ヒノキを中心とした林業を手伝いながら鹿児島大学、同大学院で林学を専攻修了。林野庁退職後は山林約千haを相続し林業経営を実践中。
主な著書は「脱・国産材産地」時代の木材産業」(共著 公益社団法人大日本山林会)など。



主催：儲かる林業を実現する会
共催：真庭市
後援：津山市、高梁市、新見市、美作市、鏡野町、新庄村

問い合わせ先

儲かる林業を実現する会 豆原 義重

儲かる林業の実現に向けて

1 林業のこれまでとこれから

- 林業とは？ 成長産業化とは？
- これからの林業の課題
 - ① 経営コストの低減
 - ② 立木価格の改善

2 経営コストの低減

- コンテナ大苗+伐採と造林の一体作業＝林業版セル生産方式（更新コストを半分以上に）
- 低密度植栽で伐期齢（資金回収期間）を30年（スギ、カラマツは早生樹）
- 世界の温帯地域の林業は伐期30年以下、2,000本/ha以下（レアなのは日本林業）
- 林業版セル生産方式+低密度植栽＝林業利回りの改善

3 なぜ立木価格は下落したのか

～原因がわからなければ、有効な対策を講じることはできない～

- 製材品価格、丸太価格、立木価格の半世紀の推移
- 1995年（平成7年）以降の製材をめぐる変化
- 製材歩留まりと価値歩留まりの低下の影響

4 山が喜ぶ木材の使い方

- 歩留まり向上に寄与する商品の開発
- 山が喜ぶ木材の使い方を進めよう

5 山が喜ぶ木材需要の拡大

- 新設建築別の構造と担い手
- 木造建築を巡る状況（昭和20年代）
- 新設建築物と建築物ストックの床面積比較
- ストック活用社会
- 木材による既存建築物リノベーション

6 木材で創る「これからの日本」

- 木質建築材の代替資材化（木材資源から化石資源由来の資材に変わった時代）
- 暮らしの中から消えた木材
- バブルの教訓
- これからの日本の作り方
 - スクラップアンドビルドからストックを活かして豊かさを享受する時代へ
 - 再木質化の時代へ
 - 木材の活用は林業、山村の振興だけではなく、豊かな日本を創るキーデバイス